

## デバイス削除時のエラー対処方法

賃貸名人データベース管理から [ デバイス削除 ] を試みると、次のエラーが発生することがあります。

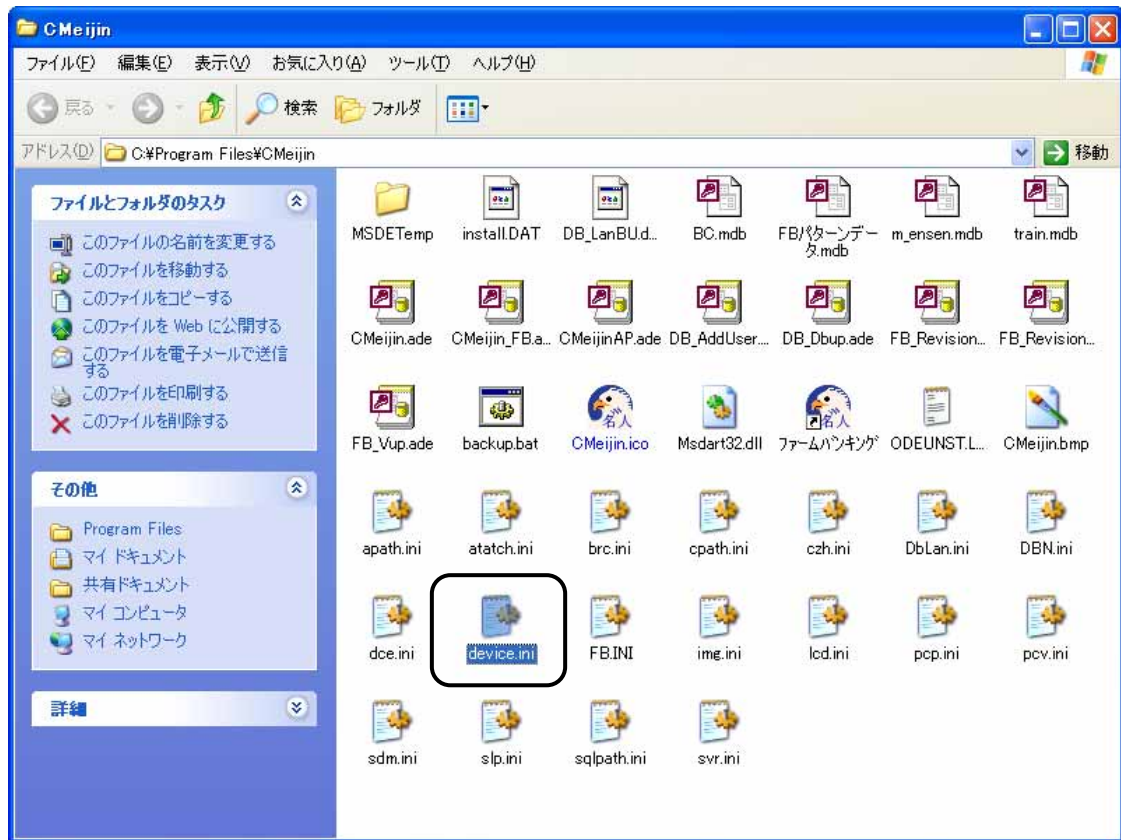


これは、「実際のデバイスの有無」とデバイスの有無記録しているファイル「Device.ini」の記述の不一致が原因です

以下の手順で「Device.ini」の記述を修正してください。

本手順書では、賃貸名人インストールフォルダを、標準インストール先である「C:\Program Files\CMeijin\」として説明いたします。  
インストール時にインストール先を変更された場合は、自社環境に応じて手順を変更してください。

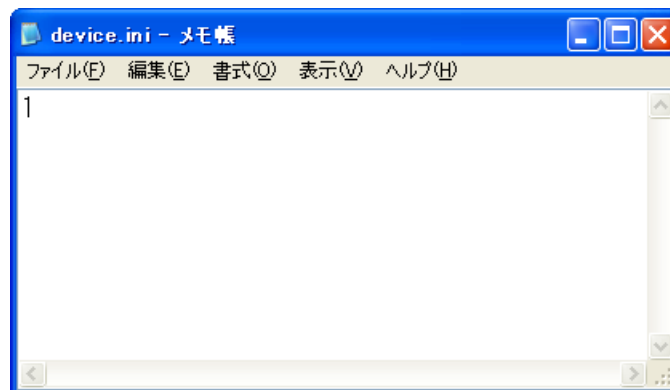
[マイコンピュータ] から賃貸名人インストールフォルダを開きます。



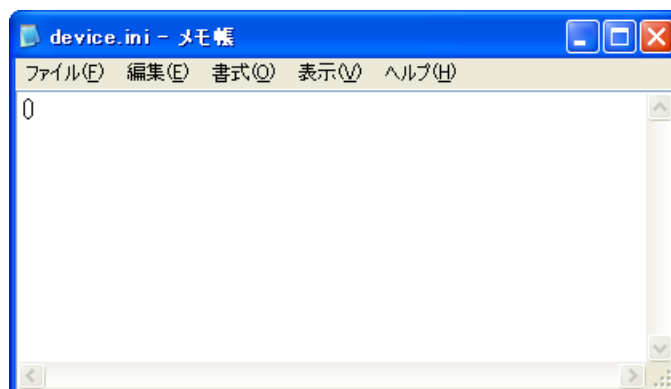
賃貸名人インストールフォルダに「Device.ini」( ) という構成設定ファイルが格納されていますので、これをダブルクリックで開いてください。

拡張子 (.ini の部分) を非表示にしている場合は、単に「Device」と表示されていますのでご注意ください。

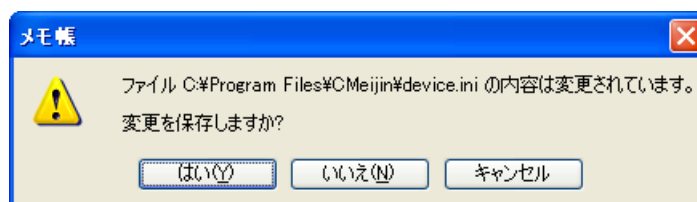
次のように 1 と記されています。



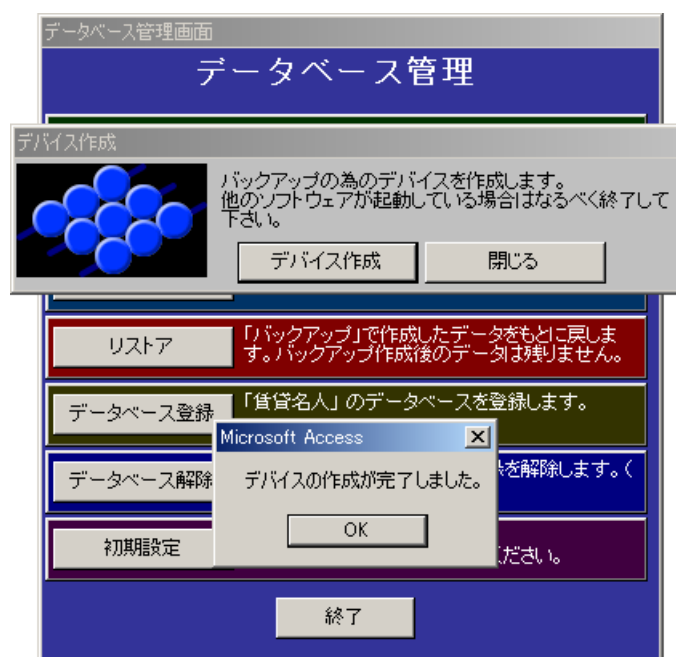
これを 0 に打ちかえてください。



メモ帳を閉じると、変更の保存をするかどうかのダイアログが表示されます。[ はい (Y) ] ボタンを押し保存してください。



最後にデータベース管理から [ デバイス作成 ] を実行します。



「デバイスの作成が完了しました。」とメッセージが出れば修正は完了です。